

3 一般会計主要事業の概要

事業費の後の()書きは前年度当初予算額

魅力あふれる交流連携のまちづくり

中心市街地整備の推進

(公) **土地区画整理事業(建設部 区画整理課)** (新市建設計画)

1,293,000千円 (2,800,000千円)

1 事業目的

都市施設の基盤整備と土地利用の再編により、駅前大街区を中心とした商業業務機能の集積と良好な住環境の整備を行い、魅力あふれる「新都市拠点」を構築する。

2 事業年度

平成10年度～22年度

3 事業概要

施行面積 27.8ha

施行地区 坂井町、庄内町の各一部

総事業費 約300億円

進捗状況 H19年度末までに約2.1ha(75%)施工完了、330戸のうち先行買収分も含め約310戸(94%)の移転補償が完了、事業費累計では240億円(80%)が執行済みとなる見込み

4 19年度の事業内容

工事費 433,000千円

・道路築造 新居浜駅港町線ほか約400m

・宅地整地 約16,000m²

補償費 770,000千円

・建物移転 10戸程度

・水道、電柱電線類移設

委託料 50,000千円

・無電柱化工事委託 一式

・実施設計 一式

事務費 40,000千円

5 財源内訳

国 50%(110,000千円) 55%(275,000千円)

合併特例債 95%(823,300千円)(交付税算入率70%)

諸収入(1,240千円) 一般財源(83,460千円)

(施) **駅周辺整備計画策定費(企画部 駅周辺整備室)**

18,872千円 (13,816千円)

1 事業目的

JR新居浜駅周辺は、土地区画整理事業により良好な都市基盤が計画的に整備されているが、商業・業務機能の誘致や大街区への核施設の導入(公共・民間)等都市基盤整備後の高次都市施設の集積、賑わい創出の具体的計画が未定である。

また、芸術文化施設PFI導入可能性調査報告書、駅前広場・シンボルロード整備基本計画書等ソフト面の計画が作成されているが、市民・民間事業者に認識されていないことから、市民の合意、民間事業者の参加・協力が得られる新居浜駅周辺の整備計画を策定する。

2 事業年度

平成18年度～19年度

3 事業概要

H17年度に実施した「新居浜駅周辺地区整備基本調査」結果をもとに、新居浜駅周辺地区整備の望ましいあり方を平成18・19年度の2か年継続事業として検討していく。

4 19年度の事業内容

事業化の具体的計画

具体的な導入機能・ゾーニング・施設配置・整備運営計画・推進主体・事業手法

事業効果の検討

社会経済効果の詳細把握・事業の意義・位置付け詳細設計

芸術文化施設の施設・設備・維持管理・運営等の具体的計画及びシミュレーション

5 財源内訳

諸収入(13,000千円)(市町振興協会交付金) 一財(5,872千円)

港湾の整備

(公) 港湾建設事業(企画部 総合政策課)

133,334千円 (353,334千円)

新居浜港務局が実施する港湾整備事業費のうち、一般財源分及び起債分について負担する。

事業名	事業費	国費	県費	起債	一財
改修(重要)事業	400,000	200,000	66,666	120,000	13,334

(交付税算入率50%)

以下港務局ベースの事業費

改修(重要)事業 400,000千円 (400,000千円)

1 事業目的

増大する貨物需要に対応した内貿ふ頭を整備するとともに、大規模災害時の緊急物資等の輸送拠点となる耐震強化岸壁を建設する。

2 事業年度

平成12年度～平成25年度

3 事業概要

新居浜港東港地区に新たに-7.5m岸壁(5千トン級)及び-5.5m岸壁(2千トン級)の2パースを整備し、内貿用一般貨物の取扱を行う。-7.5m岸壁は、耐震強化岸壁として整備し、大規模地震災害時の緊急物資等の輸送拠点とする。

平成12年度に事業採択され、調査設計を行った後、平成13年度から本格的な工事に入った。平成15年度までに岸壁築造に必要なケーソン20函が完成し、現在、床掘・浚渫及び基礎捨石工の工事に入っている。

4 19年度の事業内容

工事費 385,000千円

・上部工一式(48,000千円)

・-7.5m泊地浚渫工(337,000千円)

事務費 15,000千円

(単) 単独港湾建設事業(企画部 総合政策課)

5,400千円 (3,800千円)

1 事業目的

港湾の整備にあたり必要であるが、補助対象事業に該当しないため未整備の施設や、建設後の経年変化により老朽化がみられる施設を、計画的に維持管理していくもの。これにより、港湾の開発、利用及び保全を推進し、安定的な物流の確保を図る。

2 事業年度

平成19年度

3 事業概要

港湾改修事業に伴い、東港灯浮標の移設工事を行う。また、バリアフリー化をすすめるため、フェリーセンターの玄関を自動ドア化する工事を実施する。

4 19年度の事業内容

負担金 5,400千円

都市間交流幹線道路網の整備

(単)新居浜駅菊本線改良事業(建設部 道路課)

90,000千円(205,000千円)

1 事業目的

JR新居浜駅と北部市街地とを結ぶ南北幹線道路である本路線を、土地区画整理事業と連携して一体的に整備する。

2 事業年度

平成12年度～20年度

3 事業概要

市道金栄橋通り線～専売公社南通り線

延長 611m

幅員 16m

4 19年度の事業内容

工事費 87,300千円

・L=186m(道路舗装工ほか)

事務費 2,700千円

5 財源内訳

市債(臨道特定)90%(81,000千円)(交付税算入率1/3) 一財(9,000千円)

(公)西町中村線改良事業(建設部 道路課)(新市建設計画)

287,000千円(252,000千円)

1 事業目的

県道新居浜港線と上部東西線とを、国道11号を經由して結ぶ上部地区の幹線道路であり、一般国道11号西之端交差点改良、県道の整備と連携し事業効果を高める。

2 事業年度

平成16年度～21年度

3 事業概要

車道の拡幅、右折レーン及び歩道の設置により渋滞緩和、自転車歩行者の安全を図る。

国道11号西之端交差点～大生院船木線(旧国道)

延長 170m

幅員 20m

4 19年度の事業内容

補償費 215,300千円

・N=4件

用地費 52,700千円

・A=585m²

委託料 8,000千円

・補償費算定

工事費 1,000千円

事務費 10,000千円

5 財源内訳

国 55%(110,000千円)

合併特例債 95%(168,100千円)(交付税算入率70%) 一財(8,900千円)